



GAIA Annual Report 2021



生物多様性あいち学生プロジェクト GAIA2021

## 生物多様性って？

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性と繋がりのことです。

生物多様性の保全は、豊かな自然を守るだけでなく、私達の暮らしを守ることに繋がります。

GAIA では、次代を担うユースが多様な主体と連携して保全活動や情報発信に取り組むことを通じて、愛知の生物多様性について学び、成長しながら、持続可能な社会の構築に貢献することを目指しています。

# WE ARE “GAIA”

守る、広げる、つなぐ。

生物多様性の保全活動に参加する。  
活動、その想いを発信する。生物多様性の輪を広げる。



保全活動を軸として、  
楽しみながら、学びながら、  
生物多様性を守り、広める活動を行っています。

GAIA = Getting Associated Into Action ~ 連携して行動を起こす ~ / ギリシャ神話の大地の女神 GAIA

2022年度リーダーの村井美乃里です。  
今年度、活動に参加させていただいた団体の皆様、  
ありがとうございました！

今年のGAIAは感染症の影響で思うように活動ができない時期もありました。

そんな状況でもSDGs AICHI EXPO 2021での発表や、愛知こどもの国での独自のイベントの開催など、一段階成長できた年でもありました。来年度はこの流れを崩さず、どんどん成長していきたいと思っています。

GAIAは山、里山、海など様々な自然環境について学べるのはもちろん、他大学、他学年、社会人との交流も盛んなので、知識の輪も人の輪もどんどん広がります。

ボランティアの一面もありますが、メインの目的はユース自身の学び、そして情報発信です。ユースだからこそできる活動、ユースならではの考えを発信することは自分自身の成長にもつながります。ぜひたくさんのユースにGAIAを知ってもらい、一緒に活動する仲間になってほしいです。

環境保全活動をしている団体と聞くと堅苦しいイメージを持つ方も多いと思いますが、GAIAのモットーは「楽しむ」です。サステナブルな団体にしていくためには、ユース自身が楽しむことが必要不可欠だと考えています。

来年度もたくさんの活動に参加、企画をしていきたいと思っています！



2022年度リーダー  
人間環境大学  
村井 美乃里

# GR 2021 Index

	GAIAとは	2
	目次	5
	GAIA活動地域MAP	6
01	尾張西部 エコミーティング～建設業と生物多様性保全～ (株)加藤建設 (愛西市)	8
02	西三河南部 アートの島で海岸清掃&島内サイクリング 佐久島 (西尾市)	9
03	西三河 刈谷北部地域 外来カメ駆除大作戦 刈谷北部地域 (刈谷市)	10
04	新城設楽 東栄町生物多様性モニタリング調査 のき山学校 (東栄町)	11
05	尾張北部 稲刈り体験 犬山里山学センター (犬山市)	12
06	渥美半島 海岸清掃&海の幸を堪能 西ノ浜海岸 (田原市)	13
07	東部丘陵 湿地の保全活動 二ノ池湿地 (長久手市)	14
08	東三河 「自然再生」その目標像を再考 東三河ふるさと公園 (豊川市)	15
09	知多半島 竹林整備体験 布土地区内竹林 (美浜町)	16
10	西三河南部 GAIA自主活動 愛知こどもの国 (西尾市)	17
11	常滑 SDGs AICHI EXPO 2021 AICHI SKY EXPO (常滑市)	18
	その他の活動	19
	メンバー紹介	20
	アンケート	21
	GAIAへのメッセージ	22
	編集後記	23



愛知県環境局自然環境課 課長

杉本 安信 様

オール愛知のユース組織「GAIA」では、ユース世代が中心となり、生物多様性に係る「保全活動」と「情報発信」に取り組んでいます。次代を担うユースの皆さんによる、経済・社会を支える「生物多様性」への取組は、持続可能な社会の構築につながる重要な取組です。

今年2022年には、中国・昆明にて生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）が開催され、新たな世界目標が採択される予定です。2050年までの長期目標「自然と共生する社会」に向け、世界中が取組を加速させていく、大きな転換点といえます。

2050年に社会の中軸を担うのはユースの皆さんです。皆さんには、GAIAの活動を通して、さまざまなフィールドでの保全活動を体験し、楽しみながら地域の自然や生態系について学んで頂きたいと思います。また、多様な主体・世代とも交流し、若者ならではの自由な発想と行動力で、課題解決にチャレンジしてください。未来のリーダーであるユースの皆さんの取組を、応援しています。

# ACTIVITY MAP

2021年度は9カ所での活動に参加、また2つの自主参加・企画活動を行いました。



## MAIN ACTIVITY

—— 主要な9地域での活動

- 
- 01 尾張西部 エコミーティング～建設業と生物多様性保全～ 21/06/27  
(株)加藤建設 (愛西市)
  - 02 西三河南部 アートの島で海岸清掃&島内サイクリング 21/07/10  
佐久島 (西尾市)
  - 03 西三河 刈谷北部地域 外来カメ駆除大作戦 21/07/17-18  
刈谷北部地域 (刈谷市)
  - 04 新城設案 東栄町生物多様性モニタリング調査 21/10/08  
のき山学校 (東栄町)
  - 05 尾張北部 稲刈り体験 21/10/31  
犬山里山学センター (犬山市)
  - 06 渥美半島 海岸清掃&海の幸を堪能 21/11/18  
西ノ浜海岸 (田原市)
  - 07 東部丘陵 湿地の保全活動 21/11/23  
二ノ池湿地 (長久手市)
  - 08 東三河 「自然再生」その目標像を再考 21/12/04  
東三河ふるさと公園 (豊川市)
  - 09 知多半島 竹林整備体験 21/12/05  
布土地区内竹林 (美浜町)

## SPECIAL ACTIVITY

—— 自主参加・企画による活動

- 10 西三河南部 GAIA 自主活動 21/04 ~  
愛知こどもの国 (西尾市)
- 11 常滑 SDGs AICHI EXPO 2021 21/10/22-23  
AICHI SKY EXPO (常滑市)

# エコミーティング～建設業と生物多様性保全～



01 尾張西部

日時：2021年6月27日（日）  
場所：愛西市（株）加藤建設



## ●自然に歩み寄るリーディングカンパニー

「(株)加藤建設」さんは、あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス表彰を受けている、環境保全型建設事業推進のリーディングカンパニーです。

生き物の視点になって建設業のあり方を考えることで、自然の復元や新たな環境の創出を目指す取組みであるエコミーティングを推進しています。また、尾張西部地域の生物多様性保全の拠点づくり（＝ビオトープづくり）を進めています。



▲ 現地視察の様子

## ●活動報告

### 【現場視察・エコミーティング参加】

(株)加藤建設さんが生き物との共存を目指して実際に施工中の建設現場を視察させていただきました。その後、生き物の目線から「どのような環境になれば生き物が過ごしやすくなるか」について意見交換するエコミーティング体験をしました。



▲ エコミーティング体験

### 【ビオトープ整備体験】

(株)加藤建設さんが進めているビオトープ整備の一環として、一般公開に向けて必要な案内標柱を立てる作業を体験しました。



▲ ビオトープ整備体験

## ●活動を通じて…

生き物の視点で建設事業のあり方を考えるという貴重な体験をさせていただき、考え方が変わりました。「建設事業は自然環境に負荷を与える」というイメージを持つ人は少なくないと思います。しかし、今回の活動を通じ、生き物の視点で現場を見ること、そして工夫することで、生態系保全を図れることを知りました。自然と共存できる建設事業について考えるエコミーティングが標準的に行われるようになれば、生き物と共存できる社会に近づくのだと感じました。



▲ ビオトープの案内標柱が完成！！



### ●主催団体：株式会社加藤建設 鈴木さん

カトケンビオトープ（仮）の整備や、他の現場でのエコミーティングの実施と改善を今後も続けていきます。そのような過程でユースからの目線の意見も取り入れたいと思っています。ビオトープでの園路整備また手伝っていただけたら嬉しいです。加藤建設での活動にまた、個人でもいいので是非参加してください。

# アートの島で海岸清掃&島内サイクリング



02 西三河南部

日時：2021年7月10日（土）  
場所：西尾市 佐久島



## ●豊かな海と自然を守るために

「島を美しくつくる会」さんは、佐久島の豊かな自然を守るとともに、島の活性化を推進するため、藻場の再生、海岸清掃、島内の散策路整備をはじめとした保全活動はもちろん、佐久島の地域活性化に繋がる活動も実践されています。



▲ 海岸清掃後の集合写真

## ●活動報告

### 【海岸清掃】

白浜海岸に漂流しているゴミをみんなで協力して拾いました。その際ゴミの種類に注目して海岸ゴミビンゴも行いました。岡崎市や大府市から流れ着いたゴミもありびっくりしました。



▲ 海岸ゴミビンゴ

### 【佐久島の魅力発見：サイクリング】

島内を自転車で周遊し、海の風を浴びながらその魅力に触れました。途中で自転車を降りて海岸や竹林で生き物を探したり、アート作品を鑑賞、体験するなど、さまざまなアクティビティを楽しみました。



▲ 海岸のサイクリング

## ●活動を通じて…

佐久島は魅力あふれる自然豊かな島ですが、生物多様性保全の視点からみると海岸ゴミの散在、藻場の減少、島内の不十分な里山整備などさまざまな問題を抱えていることを知りました。

特に海岸ゴミの大半が三河湾地域の都市域に由来していることを知り、海岸ゴミの問題をより身近に感じました。都市域のゴミ削減が豊かな海を守る活動に繋がっているのだということを知ってもらえるよう発信していきたいと思います。



▲ «おひるねハウス»を体験



### ●主催団体：島を美しくつくる会（西尾市佐久島振興課）三矢さん

GAIAの皆さんには、現場に足を運んでいただいて、佐久島など現場が抱える問題を自分の目で感じることを期待しています。そこからできることは何か、必要なことは何かと疑問を持つことが、生物多様性の活動へ広がっていくことと思います。

# 刈谷北部地域 外来カメ駆除大作戦

03 西三河

日時：2021年7月17日・18日（土・日）  
場所：刈谷北部地域



## ●基本理念は“環境との調和”

「トヨタ車体(株)」さんは「地球にやさしい車づくり、人にやさしい車づくり」の基本理念の下、「地域と共生、自然と調和する工場」を目指しています。

その一環として「刈谷ふれ愛パーク」を設立し、地域のみなさんがスポーツができる場所、農業が体験できる場所を提供するとともに、自然共生の場としてビオトープも創出しています。



▲ 地域のみなさんとビオトープを観察

## ●活動報告

【カメのわな設置・捕獲・計測・記録】

カメ博士として有名な愛知学泉大学の矢部隆先生よりご指導を頂きながら、外来カメ駆除活動を行いました。

ふれ愛パーク内の池などにカメトラップ（ワナ）を設置、その後回収するという方法でカメを捕獲しました。



▲ 捕獲したカメの計測

特定外来生物に指定されているミシシippアカミミガメを捕獲した一方で、在来種のニホンスッポンも捕獲しました。捕獲後はカメのカウント、計測を行いました。



▲ 矢部教授（愛知学泉大学）にご指導頂きました

## ●活動を通じて…

活動の後、今回捕獲した外来のカメは殺処分されることになるとかがありました。地域の生態系のバランスを維持するためにやむを得ないですが、とても胸が痛みます。

外来生物は私たちの生活においてさまざまな問題の原因となることが知られていますが、懸命に生きている生き物に罪はありません。

外来生物を悪者扱いするような行動を慎むべきであること、そして私たちと生き物との関わり方を考える必要があると強く感じました。



▲ 参加した皆さんと一緒に集合写真



## ●主催団体：西三河生態系ネットワーク協議会 トヨタ車体株式会社 志水さん

活動に参加いただきありがとうございました。カメの計測、回収などお手伝いいただきました。持続可能な社会の実現には、若い世代の方々の力が必要です。生物多様性保全に向けて、ともにがんばっていきましょう。

# 東栄町生物多様性モニタリング調査

## 04 新城設案

日時：2021年10月10日（日）  
場所：東栄町 のき山学校周辺



## ●自然溢れる山里学校で発見・創造

新城設案生態系ネットワーク協議会に所属する「NPO法人てほへ」さんは、平成22年に閉校した小学校校舎を利活用した山里の学校「東栄町体験交流館 のき山学校」を運営しています。この地域では、豊かな里山の景観と700年以上続く「花祭」など独自の伝統文化が継承されています。

自然や風景、歴史、文化、技、人に刺激を受け、ここに集う皆さんが新たなつながりを発見、創造できる「みんなの学校」を目指しています。



▲ のき山学校で行われたてほへ交流会  
ピザづくり体験や地元産品の販売がありました

## ●活動報告

【生物多様性モニタリング調査】

のき山学校を囲む林は適切な間伐や枝打ちなどの管理によって樹間が保たれたスギ、ヒノキと落葉広葉樹で構成されており、生物多様性が高いことがわかりました。

ノギクやミゾソバなどさまざまな野草が生えていましたが、外来植物も生えていました。

【東栄町の魅力発見：豊かな自然とそこに住む人たち】

東栄町を歩いてその魅力を探しました。景観がよく空気も美味しい上、水路を覗くとカニが見つかるなど生き物が多く、都市部とは全く違った魅力がありました。

のき山学校でてほへ交流会が行われており、地域の人達が鹿肉の唐揚げや山菜ご飯を売っていたりしていました。



▲ 生物多様性モニタリング調査  
のき山学校周辺を歩いて調査しました

## ●活動を通じて…

東栄町には豊かな里山の自然が残っていますが、ここも外来植物が侵入して在来野草の生育地が奪われつつあることがわかりました。また、外来植物を増やさないためにできることを考え実践するべきだと思いました。

のき山学校では東栄町の魅力的な風土の中で、新しい発見、学び、気づきを得ました。多くの人にのき山学校に足を運んでいただきたいです。私達も今後も東栄町で活動をしていきたいと思っています。



▲ 観察した植物とその写真をもとに復習を行いました



●主催団体：新城設案生態系ネットワーク協議会 清水さん

東栄町に本拠を置くプロの和太鼓集団「志多ら」を応援して約30年。11年前に、その「志多ら」とともに「NPO法人てほへ」を設立し、今理事長をしています。NPO法人てほへでは、ここ「のき山学校」に多くの人を集ってもらえるように、東栄町から管理を任せ運営しています。今後も、多くの方と一体となって、山村の伝統文化や技術を学んだり、地域の自然資源（川、鮎、山菜、セリサイトなど）を活用した体験活動ができればと思います。

# 稲刈り体験

05 尾張北部

日時：2021年10月31日（日）  
場所：犬山市 犬山里山学センター



## ● 里山の大切さを伝えるために

「NPO法人 犬山里山学研究所」さんは、独自の調査研究を踏まえ、自然資料の収集および分析、生物・環境講座や観察会の開催、保全活動の実践等を行い、里山の大切さについて世代を超えて発信している団体です。

今回使わせていただいた田んぼでは、耕作放棄されたところを再生する実験を先駆けで行っています。水源がため池なので水をポンプで引き上げなくてもよく、持続可能な稲作ができます。



▲ 稲刈りの様子

## ● 活動報告

稲刈りの作業工程は①稲刈り、②稲を束にする、③稲架掛け、の三段階にわかれていました。どれも体力が必要な作業であることがわかりました。刈る際は腰に負担がかかり大変ですが、刈った後の運び出しも稲が重く想像以上に大変でした。

バインダー（稲刈りと稲束づくりを同時に行う機械）も少し使わせていただきました。また、稲の品種によって稲穂の色や収穫時期、収穫時の稲の倒れ具合が違うというように現場でしか知ることのできないことをたくさん学びました。



▲ バインダーを使う体験

## ● 活動を通じて…

稲刈りは想像以上に重労働で大変でしたが、オンライン授業が多い私たちにとってはとてもいい運動にもなりました。皆で声を掛け合いながら協力して進めていく中で、団結力が高まっていくのを実感しました。

作業の中で周りに目を凝らすと虫やカエルがたくさん見つかり、田んぼを取り巻く多くの生物によって生態系が成り立っていることを感じました。



▲ 稲束を運ぶ準備をしています



● 主催団体：NPO法人犬山里山学研究所 永田さん

活動に参加して感じたこともそうですが、普段何気なく気がついたこと、感じたことも多くの人と共有し、そして考え、次へと繋げていってほしいです。

# 海岸清掃 & 海の幸を堪能



06 渥美半島

日時：2021年11月13日（土）  
場所：田原市 西ノ浜海岸



## ●西ノ浜から海の環境を守る

「亀の子隊」さんは「西ノ浜はゴミ箱じゃない!」をテーマに西ノ浜をきれいにする環境ボランティア団体です。自分たちの地域の環境を自分たちの手で守るという地域密着型、地域貢献型の活動をしています。

その中心となるのは海岸清掃、海の環境を学ぶ会の開催、啓発活動（パネル製作や講演会など）の三つです。今回GAIAが参加したエコツアーでは、その三つ全てに参加することができます。



▲ 海岸清掃

## ●活動報告

### 【海岸清掃】

西ノ浜海岸で清掃活動を行いました。外国語の書かれているペットボトルや洗剤容器なども見つかりました。海岸に落ちているゴミの多くは遠いどこかから流れてきたものだということがわかりました。

### 【海の幸を堪能：タッチプールと海鮮バーベキュー】

定置網漁で獲れた地物の生きた新鮮な魚を実際に観察し、触れてみました。その後、焼き魚や刺身にしていただきました。美味しい海の幸をいただいたことで、改めて、海をきれいにする大切さや海への感謝する気持ちを抱きました。



▲ タッチプール



▲ 新鮮な海の幸

## ●活動を通じて…

海岸清掃とタッチプール・海鮮バーベキューを通して環境保全や生物多様性の大切さをより一層感じることができました。海岸清掃を続けていくことに加えて、ゴミを出さない社会づくりを考える工夫をする必要があると思いました。

また、海のゴミの現状についての発信にも力を入れていきたいです。今後も海の豊かさや海の恵みへの感謝を忘れないようにしたいと思います。



▲ タッチプールでは16種の生物と触れ合いました



## ●主催団体：環境ボランティアサークル 亀の子隊 鈴木さん

亀の子隊は、「海をステージにビーチクリーン」をはじめさまざまな体験的な活動を通して「きれいな海を守る 心を広げる」ために活動しています。

今後、GAIAのみなさんと海から見た生物多様性の大切さを訴えていければと思います。

# 湿地の保全活動

07 東部丘陵

日時：2021年11月23日（火）  
場所：長久手市 二ノ池湿地群  
（一般の方は立ち入りできません）



## ● 東海地方有数の湿地を守る

「長久手湿地保全の会」さんは、草刈りや生物調査を通して長久手の湧水湿地を保全されています。東海地方の湿地は貧栄養（栄養が少ない）であることが特徴で、河原のように岩がゴロゴロとしています。そのためこの過酷な環境に適応した、ミミカキグサやトウカイコモウセンゴケなどといった珍しい植物が多く生息しています。長久手の湿地もその一例です。



▲ 湿地に生育する食虫植物のトウカイコモウセンゴケ

## ● 活動報告

湿地の貧栄養状態を維持するために湿地の植物であるシラタマホシクサなどをあえて刈り取りました。シラタマホシクサは絶滅危惧種ですが、すでに種子を落としているため来年の生育への影響はありません。むしろそのまま枯れさせると徐々に土を肥えさせてしまい湿地の貧栄養状態を保てないので、刈り取る必要があるのです。



▲ 黙々と草刈りしている様子

## ● 活動を通じて…

「希少だから」と人間が関わらない保全をするのが必ずしも正解ではないこと、人が手を加えないと生きていけない動植物もいるということを知りました。「人の手が入ることで成り立つ生態系」があるということも多くの方に伝えていきたいです。今回は動植物があまり活動していない時期の活動であったため生き物にはほとんど会いませんでした。春以降に訪れるのが今から楽しみです。



▲ 30分程度の草刈りでここまできれいになりました



▲ 長久手湿地保全の会の皆さんと意見交換



## ● 主催団体：長久手湿地保全の会 水岡さん

長久手市の『クテ』は、湿地という意味です。湿地は、自然のまま放置すると、やがて森になり消滅してしまいます。貴重な湿地を次世代に残すためには、保全活動が大切です。若い方には、まず関心を持ってほしいと思います。

# 「自然再生」その目標像を再考

08 東三河

日時：2021年12月4日（土）  
場所：豊川市 東三河ふるさと公園



## ●山里の景観・茅場の再生

東三河ふるさと公園では、旧東海道の宿場町『御油宿』にみられる近隣郷土の風景をテーマとした公園づくりがなされています。そして「東三河地域環境リーダー」さんは、園内の三河山野草園において里山の景観の一つ「茅場」の再現を目指してカヤネズミの棲む草原の再生に取り組んでいます。具体的な活動は植生の定期的な調査、年1、2回の草刈り、侵略的外来種の駆除です。また、保全活動をPRするイベントを年1回開催しています。



▲園内に設けられた茅場

## ●活動報告

### 【植生調査体験】

瀧崎先生にご指導をいただきながら1m×1mのモニタリング調査枠を対象とした植生調査を行いました。メリケンカルカヤやセイタカアワダチソウが生えている場所では、他の植物が生えづらくなっているとわかりました。茅場の優占種であるススキを自生させるために、草刈りのタイミングを秋には行わないことや、草刈りを年に1回にするなどが考えられました。加えて、継続して外来種駆除に取り組む必要があることがわかりました。



▲茅場再現のための植生調査  
生えている植物について草丈や被度を測定しました

### 【「カヤネズミの棲む野草園」という目標像の見直し】

三河山野草園ではカヤネズミの棲む茅場の再生を目指していましたが、学識者から「カヤネズミは周囲に水辺がないと棲めないのでは」と助言を頂いたとのことでした。野草園の目標像はどうすべきか？について意見交換しました。

## ●活動を通じて…

草地にはさまざまな在来野草がある一方、外来植物のメリケンカルカヤ、セイタカアワダチソウは周囲の他の植物の成長を阻害していました。茅場を再生するにあたって外来植物の侵入を防いだり駆除したりするのはなぜなのか、自然環境を保全する上でどのように指針を立てるべきなのか、多くのことを学び、考えさせられる活動でした。



▲東三河地域環境リーダーのみなさんとの集合写真



### ●主催団体：公益社団法人 東三河地域研究センター 樋口さん

私達の活動してきた経験が少しでも伝わればいいんじゃないかと思います。情報が共有されていかないと、持続させていくことは難しいです。新しい世代に草花はどうやって守られているかなどノウハウや経験、知識を伝え、互いに情報交換をすることが重要です。

# 竹林整備体験



09 知多半島

日時：2021年12月5日（日）  
場所：美浜町 布土地区内竹林



## ●豊かな里山と自然を守るために

知多半島の美浜町では外来種のモウソウチクによる放置竹林が増えており森林面積の1/4以上を覆っています。未整備竹林では土壌保全、保水等の森林機能の低下、植生の単調化、景観の悪化などさまざまな問題が顕在化しています。

美浜町竹林整備事業化協議会、通称「モリビトの会」さんは、こうした問題を引き起こしている未整備竹林の再生を進めるとともに、山の幸であるタケノコやシイタケを味わい楽しむ活動、地域農業の活性化に関わる活動、豊かな生態系の回復による田園地帯の観光資源化に繋がる活動を行っています。



▲ 荒れた竹林で竹の切り方を教わりました

## ●活動報告

### 【竹林整備】

ノコギリを使って竹を切る方法を教わりました。最低一人一本は竹を切ることができました。その後、斜面から竹を運び出す体験もしました。



▲ 運び出し担当が焼き場に竹を運びます

### 【ポラス炭づくり】

伐採した竹を焼いて炭を作り、水で冷まして回収しました。このポラス炭は微生物の活動を促進させる効果があるので土壌改良材として有効に利用されるそうです。



▲ 竹を焼いてポラス炭を作りました

## ●活動を通じて…

モリビトの会の方はさまざまな視点から解決方法を検討されていて、大きな学びになりました。放置竹林と生物多様性の関係やモウソウチクの利活用について、GAIAとしても発信し続ける必要があると感じました。



▲ モリビトの会のみなさんとの集合写真



### ●主催団体：モリビトの会 玉村さん

ユースや若い世代には竹林を用いて新しい仕事を生み出すことを期待しています。私達の活動をもっとたくさん、多くの方々を知ってほしいです。

## GAIA自主活動 愛知こどもの国

## 10 西三河南部

2021年 4月 24日（土）タケノコ掘り  
 2021年 10月 17日（月）生きものスタンプラリー  
 2021年 11月 6日（土）トンボロ干潟いきもの観察  
 展示コーナー作成



## ● ユース主体の活動のはじまり

私たちが主体となり多くの人が自然に興味を持ってもらえるイベントの企画づくりをしたいという思いを実現すべく、「愛知こどもの国」さんの協力をいただき、環境学習、体験イベントの企画というGAIA主体の実践活動をさせていただくことになりました。

## ● 活動報告

## 【生きものスタンプラリー】

自然豊かな愛知こどもの国にて、園内三地点を巡る生きものスタンプラリー&クイズを実施しました。「ここにキツネいるの!」「アサギマダラそんなに飛ぶの!」と目を輝かせる子どもたちの姿をうれしく見学しました。GAIAメンバー自作のスタンプ・景品(アサギマダラの絵本)も好評でした。

## 【トンボロ干潟】

トンボロ干潟では足元に意識してよく観察しなければ気づかないような小さな生き物がたくさん生息していました。生き物にとって暮らしやすい環境である干潟でさえ生息数が減少している生き物がいると聞き、保全活動に力を入れたいと感じました。

## 【展示作成】

トンボロ干潟の観察後、自分たちが伝えたいと感じたことを展示しました。展示物は子どもたちに干潟の何を知ってほしいのかを意識して作りました。

## ● 活動を通じて…

愛知こどもの国さんでは今年度GAIAとして初めて企画から運営まで行ったイベントはじめ、多くの自然観察会などで生物多様性について学びました。

愛知こどもの国さんでの活動はほかのフィールドワークと違って、来園した子どもたちに伝えるというところまで行うことができるので、今後また、愛知こどもの国さんでGAIAが企画したイベントを実施したいと考えています。



## ● 主催団体：愛知こどもの国（NPO法人フロンティア西尾）西岡さん

愛知こどもの国は、自然の中でのあそびを通じて児童の健康増進と豊かな情操を養うことを目的として、「自然・環境」「多世代交流」「地域協働」を重視し、また、次世代を担う子どもと自然とのふれあいを大切にイベント活動を行っています。



▲ 生きものスタンプラリー  
フィールドワークで学んだことをクイズを通して子どもたちに伝えることができました



▲ トンボロ干潟生き物観察  
顔を近づけて小さな生き物を観察しました



▲ 展示物作成  
干潟に生息する生き物について展示物を作成、展示しました

# SDGs AICHI EXPO 2021

11 常滑

日時：2021年10月22日(金) - 23日(土)  
場所：AICHI SKY EXPO



## EXPO概要

SDGsの目標年である2030年まで10年を切り、課題解決に向け、人々の意識が変化しています。このイベントは各主体の取り組みを発信と個別の課題を相互接続的に捉え、持続可能な社会の姿を描き出すことを目的として開催されました(EXPO公式サイトより)。

## 活動報告・内容

会場内のコースエリアにGAIAブースを出展し、GAIAの存在や活動を発信しました。また、その中で私たちに興味を持ってくださった他の団体や企業さんと交流し、お互いの知ることができました。

「GAIAがどんな団体でどんな活動をしているのか」「生物多様性の重要性」を多くの方に発信するため、愛知県ブースとメインステージでプレゼンを行いました。私たちのGAIAと生物多様性に対する想いを発信できました。

ブースを回ってGAIAブースに興味を持っていただいた方のお話を聞くことで、多くの方の生物多様性やSDGsに対する想いを知ることができました。これらの言葉は身近に耳にすることが多いっぽう、その意味をよく知らない人が多いのが現状です。

今回の活動を通じて、多くの方にGAIAの活動をはじめ、身近にみられる生物多様性やその重要性について発信できた有意義な活動でした。



▲メインステージでのプレゼン、緊張しました



▲コースエリアでのブース出展



◀最後にみんなで記念撮影  
皆さんの協力で最高のエキスポになりました！



## プレゼンの感想

ステージ登壇・プレゼン担当：羽賀悠佑、鈴木晴賀、因藤来夢

- 発表を聞いてくださった方にGAIAの活動や生物多様性が身近なものであることをご理解していただき、とてもよかったです。(羽賀)
- 発表を通してGAIAが行っている活動の意義や方向性を再確認出来て良かったです。(鈴木)
- 生物多様性は大切ということを自分たちの言葉で発信できたことがとても嬉しかったです！(因藤)

## その他の活動

## ANOTHER ACTIVITY

### 天使の森 植樹祭

▶ 2021 / 11 / 03 (水) @岡崎市額田地区



人工林を伐採した土地に、ドングリなどの広葉樹を植林することで持続可能な森林を目指す活動です。アンダーユースによる生物多様性への影響や、海と山の関係について考えるよい機会になりました！

### 手作り絵本作成

▶ 「このいきもの、しってる？」



「アサギマダラ」が主人公の絵本を作成しました。作成は大変でしたが、手づくりでも素敵なものができて嬉しかったです！この絵本は、イベント等に来てくれたこどもたちに配布しました。

### 動画作成

▶ 情報発信班ミーティング @オンライン



GAIAのWebCMを作成しました。このCMがGAIAに興味を持つきっかけになって、参加する仲間が増えてくれればと期待しています！

### プロモーションカード作成

▶ 情報発信班ミーティング @大同大学



作業自体はとても大変だったのですが、できあがってみると達成感がありました。また、メンバーの皆さんが「よかったです」と声をかけてくださりとても嬉しかったし、いい経験ができたと思いました！

### 定期ミーティング

▶ 毎月第3金曜日 20:00~ @オンライン



毎月zoomで定期ミーティングを開催しています。ここではミーティングまでに行った活動の報告や、各班の現状報告、今後の活動予定などについて話し合いの場を設けています。メンバー内の情報共有とメンバー間の交流を目的としています。

### メンバー交流会

▶ 不定期開催



これからGAIAに参加する人で輪に入れるか不安に感じている人がいたら、交流会から参加してみるのがおすすめです。オンライン交流会もあるので、気軽に参加してみてください！

その他、GAIAは、なごや生物多様性センター主催の座談会参加やFM-AICHI「EVENING STREET」のラジオ出演など幅広く活動しています！

# メンバー紹介

## MEMBER INTRODUCTION



2021年度リーダー  
**山本 歩実**  
名古屋商科大学 経済学部3年

コロナウイルスの影響を受けながらも、GAIAは大きく成長しました。今後もいろんな「輪」を広げて活動していきたいです！



2022年度リーダー  
**村井 美乃里**  
人間環境大学 人間環境学部2年

GAIAに参加して一年以上経ちますが、活動ごとに毎回新しい発見がありワクワクします。今年はリーダーとして責任感を持ちつつ、人一倍楽しみたいと思います！



2021年度副リーダー  
**中島 さくら**  
名城大学 理工学部3年

活動もさることながら、運営メンバーが個性豊かで楽しかったですね。このメンバーでよかったです。来年のGAIAも乞うご期待ください！



2022年度副リーダー  
**松浦 大起**  
名城大学 農学部2年

GAIAの活動を通じて生物多様性・SDGs等について深く学び、柔軟に考え、目的をもって体験し、建設的に検討・発信することで多くの方々の心を動かせるような活動にします！



2021年度情報発信班リーダー  
**鈴木 晴賀**  
大原簿記情報医療専門学校1年

GAIAの活動をより多くの人に知ってもらいたい！という気持ちで情報発信に取り組んできました。今後もGAIAの活動を発信していきたいと思います。



2022年度情報発信班リーダー  
**伊藤 響**  
名城大学 農学部2年

GAIAの活動は、普段参加できないイベントや場所に行くことが出来て、さまざまな気づきになることがいっぱい！そんなGAIAの活動をしっかり発信していきます！



2021年度EXPO班リーダー  
**羽賀 悠佑**  
人間環境大学 人間環境学部3年

EXPO班リーダーを務め、県内の環境問題やそれに取り組む方々の想いを直接感じることが出来て良かったです。これからも活動を通じて知識と経験を広げたいです。



2022年度活動班リーダー  
**伊藤 柚稀**  
人間環境大学 人間環境学部1年

GAIAの活動を通して、生物多様性や環境保全などに興味・関心をもってもらい、活動に積極的に参加してもらえるようにしていきたいです。



2021年度活動班リーダー  
**都築 紗耶**  
人間環境大学 人間環境学部3年

GAIAの活動を通して、メンバーと一緒に取り組むからこそ人見知りな自分も交友関係や発言量も徐々に増えて、多くの面でステップアップできたと感じました！



2022年度交流班リーダー  
**因藤 来夢**  
中部大学 応用生物学部1年

GAIAでの環境保全活動は楽しいです！これからも優しくて面白いユースメンバーの皆さんと生物多様性の輪をもっと広げていきたいです！

## ALL MEMBER

片田美穂、中尾壮良、村川直也、武馬弘季、村松蒼斗、吉田圭佑、山内想太、佐藤優希奈、竹内真紀、酒井瀬奈、樋口颯太、中村亮汰、黒田桃花、水谷淑乃、木戸健太、相川咲、橋本晴絵、日比貴登、牧野翔、中山なつみ、野々部華帆、橋本奈々子、神谷みか、宮川晃大、松波香帆、大平修也、濱野真裕、金子真菜、夏目涼瑚、加藤榛華、近藤真世、袋井優希、内田浩貴、秋元翔生、石原祐作、鷺見空馬、山田暖斗、坂口日菜、服部信晃、佐藤琉海、畑本有輝、畠中崇輔、伊藤謙佑、河原凜、山本実央、菅原颯馬、高谷蓮人、河邊陽之、安田悠起、松崎かおり、高原凜、千賀朝陽、葦澤凜、愛知莉子、酒井祐大、杉山巧、矢田澄賀、片山翔一朗、高城朋弥、早川天雅、久保洗人、深田翔

※順不同・2022年2月時点

# GAIAメンバーにインタビュー

## COMMENT FROM MEMBER

所属、学年もバラバラですが、和気あいあい楽しく活動しています！

### Q. メンバー構成は？

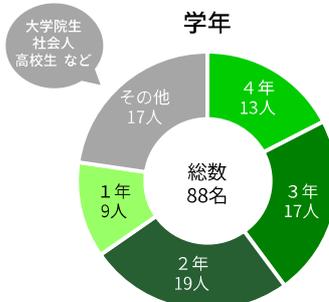


#### 所属

- 科学部
- 農学部
- 情報学部
- 理工学部
- 教育学部
- 工学部
- 総合政策学部
- 社会福祉学部
- 大学院
- 経済学部
- 薬学部
- 社会人
- 人間環境学部
- 応用生物学部
- 高校 など
- 理工学部
- 国際学部

(2022年2月時点)

#### 学年



(2022年2月時点)

### Q. GAIAに参加しようと思った理由は？



A. 大学の講義で紹介され、自分の視野を広げたいと思ったから！また、同じ大学の先輩がリーダーをしているという情報に親近感を持ったから！



A. GAIAに参加しようとしたきっかけは大学の先生にSDGs興味あるなら入らないかと言われて、私は生態系はあまり詳しくなかったのですが、このGAIAに入って活動が楽しいです。



A. 最初のきっかけは高校の先輩に誘われたことです。環境保全の活動をしたことがなかったのでやってみたいと思い参加しました。



A. 小学校4年生のとき、総合的な学習の時間において環境学習をした。それから、環境を意識しなければという思いが心にあった。大学生になり、教授に紹介してもらい、「これだ！」と思い参加した。



### Q. 印象に残った活動は？



A. 干潟観察。海の生態についての知識を多く知れた。またそれを掲示物として作成し、多くの子供たちに学んでもらうことは大切なことだと感じた！



A. 印象に残っている活動はEXPOです。初めての体験でわからないことがありましたが、色々な生態系のことを知ることができたからです。



A. トヨタ車体での外来種の駆除が印象に残りました。外来種にもちゃんと命があって、命の奪い方にも最大限に配慮をする必要があることを学んだことが印象に残りました。



A. やはり稲刈り。雨上がりに、田んぼへ入り泥沼を体験した。ほんとに泥沼は足が抜けない。昔はここまで苦労して稲を栽培していたのか、ということを感じた。



### 体験ジュニアメンバーにインタビュー



名古屋市立稲葉地小学校  
畠中 栄輔

海岸清掃と湿地保全活動に体験参加しました。活動のたびに絶滅危惧種の生き物の話を聞いて勉強になるし、活動は夢中になってやるので、いつもあっという間に時間が過ぎてしまいます！毎回、達成感もあるし、何より楽しいのでこれからもっと活動に参加したいです。

### 参加ユースメンバーにインタビュー



社会人（中部大卒）  
武馬 弘季

多くの方と関われる事が良い所だと思います。社会人になってからも参加でき、多くの方々と交流する事が出来るのは嬉しいです。また、参加する事で知見を広める事にも繋がり自身の成長にも繋げる事が出来ます。今後も出来る限り続けていきたいと思っています。

# GAIAへの メッセージ

## MESSAGE TO GAIA



【建設工事エコミーティング体験  
活動サポーター】

株式会社加藤建設 自然環境課

鈴木 則志 様

今回は、リアルな工事現場で当社の“エコミーティング”を体験して頂きましたが、建設業で生物多様性保全を推進する際、どのようなアプローチができるかを考える良い機会になったと思います。全ては、美しい風景や、かけがえのない生命を守り、そして伝えるため……。今後もオール愛知で生物多様性保全に取り組んで参りましょう。



【外来種問題を再考しよう 活動サポーター】

トヨタ車体株式会社  
プラント環境生技部 環境推進室

志水 剛 様

持続可能な社会の実現に向けて、当社はカーボンニュートラル、資源循環、自然共生を通じて地球に優しい取り組みを目指しております。その中で、あらゆる主体の生活の基盤である生物多様性が重要だと認識し、森づくり、生態系保全等の自然共生活動を実践しております。昨年に引き続き、地域の外来種駆除活動に参加していただき、皆様の熱量を肌で感じさせていただきました。今後も皆様の若い力と行動力に期待し、ここ愛知県から生物多様性活動を点から線に、そして面に変えて一緒に世界へつなげていきたいと思います。



【GAIAスペシャルサポーター】

人間環境大学  
人間環境学部 環境科学科

谷地 俊二 先生

私からは、ありがとうございますと伝えたいと思います。みなさんの企画したイベントへ参加した際に、子供から大人までたくさんの笑顔を見ました。「笑顔」地域への橋渡し、これからも笑顔の関係人口GAIAを応援しております。



【GAIA活動事務局】

グリーンフロント研究所株式会社  
代表取締役

小串 重治 様

離島〜里地・里山〜湿地〜奥山……県内の自然の豊さを学び、環境保全活動家の皆さんの想いに触れたこと、かけがいのない、皆さんの財産と思います。これからも『笑顔も届ける生物多様性アンバサダー』として……大活躍を期待しています。



【GAIAコラボレーションパートナー】

愛知こどもの国

西岡 明訓 様

GAIAの活動を通じて、「生物多様性保全」や「SDGs」について様々な体験をされてきたと思います。今までは、ゲストとして様々な情報や経験をインプットしてきたと思いますが、これからはホストとして次世代へアウトプットし、持続可能な活動が行えることを期待します。



【海岸清掃&島内サイクリング  
活動サポーター】

島を美しくつくる会  
(西尾市佐久島振興課)

三矢 由紀子 様

佐久島の活性化について平成19年から縦割り行政を取っ払ってできた課が佐久島振興課です。平成23年に西尾市と合併した折も、簡単に分断できない課になっていました。そんな課だから出来るものをと現在は観光と環境を結び付けて取り組んでいます。そう意味ではGAIAのみなさんもいるような大学等が集まって活動をしている素晴らしい組織です。この仲間だからできた。ということがたくさんあると思います。未来に向かってますますのご活躍を期待します。



【海岸清掃&タッチングプール  
活動サポーター】

環境ボランティアサークル 亀の子隊  
隊長

鈴木 吉春 様

2010年に名古屋市で開催されたCOP10では、生物多様性の損失を止めるための新目標である「愛知ターゲット」が採択されました。それから10年が過ぎ、生物多様性を守る必要性がさらに高まっています。そんな中、愛知県内の生物多様性保全活動をまもり、広め、つなげるために、県内の学生が活動するGAIAの存在を、将来に向けて心強く思います。亀の子隊は海をステージにしてビーチクリーンをはじめ様々な体験的活動を通して「きれいな海を守る心を広げる」ために活動をしています。SDGs14海の豊かさを守るという観点からも、今後、GAIAのみなさんとともに海から見た生物多様性の大切さも訴えていければと思います。今後の活動に期待しています。



【情報発信班指導者】

大同大学  
情報学部情報デザイン学科

上岡 和弘 先生

みなさん1年間お疲れ様でした。守るべきもの、守るために変えるべきもの、そのためにはストーリーも大事だということ……。情報発信活動は、そんな課題に向き合うものです。今後も試行錯誤を繰り返しながら最適解を探し続けていきたいと思います。



【GAIAスペシャルサポーター】

愛知県環境局  
自然環境課 主査

滝口 徹 様

GAIAの活動は、楽しみながら、私たちの暮らしを支える生物多様性を守るとともに、次代を担うユースの皆さんの学びや成長、また様々な関係者の連携に繋がる、まさに「SDGs」の活動です。今後も応援しています！

# 編集後記

2021年度 情報発信班

GAIA2021は、コロナ禍の状況の中においても、オンラインと対面の活動を適宜切り替えながら、多くの活動を展開することが出来ました。

そして、私達情報発信班も数々のミーティングを重ねて、今年度はこのアニュアルレポートやGAIAメンバーのプロモーションカード、WebCMを作成しました。

このように周りの方々のサポートを頂きながら、学生たちで0から制作物を作り上げていく経験は、中々出来ることではないと感じると同時に、多くの事を学ばせて頂きました。このような機会を頂けたこと、情報発信班メンバー一同から感謝を申し上げます。

最後になりましたが、GAIAの活動がより多くの人を知ってもらえるように今後も情報発信班は進んで参ります。これからもご声援よろしく願い致します。



情報発信班 リーダー  
鈴木 晴賀



情報発信班 デザイン担当  
坂口 日菜

何パターンかデザイン案を提出させて頂いた時……  
みなさんが真剣に話し合って選んでくださったのを  
みて……【絶対にいいものを作ろう!!】と思いました。

デザインをすることは難しかったですが、  
みんなで意見を固めながら1つのものを作り上げるのは  
楽しかったです。

## ▼ 情報発信班・編集参加メンバー



大変だったけど、  
楽しく作れました!

少しでもGAIAの  
活動に協力する  
ことができました!

皆と協力できて  
よかった!!

今年一年の活動を  
振り返ることができ、  
達成感を感じました!

活動の振り返りと  
今後の決意が  
できました。

1人でも  
多くの方に  
届きますように!

皆と一緒に  
作り上げられて  
良かったです!

自分が率いてた時より、  
立派な情報発信班に  
なりましたね

ユースメンバーの想いが  
ぎゅっと詰まった  
一冊になりました!

GAIAの活動を  
思い返すことが  
できて良かった!

今年も読みごたえの  
ある冊子になりました!

## ▼ INFORMATION

私たちと一緒に活動してみませんか?

GAIAへの参加申込はこちらから(愛知県 自然環境課HP) ▶

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/2019gakusei.html>



活動情報はHP・SNSで発信中!

GAIA 愛知

HP



Twitter



Instagram



Facebook





2022年3月発行  
 生物多様性あいち学生プロジェクト GAIA  
 Mail : gaia2020.member01@gmail.com  
 2021年度事務局 グリーンフロント研究所株式会社

ご支援頂いた機関  
 愛知県環境局環境政策部  
 自然環境課 国際連携・生態系グループ  
 Tel : 052-954-6229

